



氏名 李 弦チヨル
所属 現代システム科学域 知識情報システム学学類
学年 4年

留学先 マラヤ大学
留学期間 2025/2/27~2025/7/27

留学レポート Study Abroad Report

まとめ

- マレーシアのクアラルンプール(KL)にある、マラヤ大学に留学しました。
- マラヤ大学は世界大学 QS ランキングでも 60 位など超名門大学です。
- 半年の間、学部生の CS (コンピュータサイエンス) 系の授業を受けました。

マレーシアでの生活

食事

- 多様な料理を楽しむことができます。伝統的な Nasi Lemak、本格的なタンドリー、本物の中華料理。いろんなスパイスが混ざり合って、新しい味を作り出していました。
- 特に、僕が行った時期はラマダンという断食月でした。バザールという、日本でいう祭りの屋台がマレーシア中で出店されています。この時期しか食べれない食べ物ばかりです。
- 辛い料理が多いので合わない人も周りにはいました。ですが、マレーシアでも日本料理や韓国料理は食べられるので心配ありません。
- 留学生とはよくモールに行ってお飯を食べるのですが、値段は日本と大きく変わらないイメージです。地元のお店だと、公立大学の学食ぐらいの値段です。マラヤ大学の学食は驚異の 200 円ぐらいです。

言語

- 公用語はマレー語と英語です。英語は基本通じます。特に、マラヤ大学のローカルの学部生の英語力は高く、大学院生になるとほぼネイティブと変わらないイメージです。
- 僕はマレーシアの友人と恋愛、キャリア、そして人生設計などいろんな話をしました。深い話をするほど、国は違っても同じ世界を生きていることがわかります。楽しいのでぜひ。

旅行

- マラッカ海峡に行きました。教科書でしか聞いたことない単語でしたが、ちゃんと実在しています。海の上にモスクがあって、夕日が当たると、信じられないくらい綺麗です。(僕が行ったときは残念ながら曇りでした。)
- 他にはプルフンティアン島という島に行きました。マラヤ大学にいる留学生御用達のリゾート地みたいなです。海の色が日本とは違う種類のものでした。砂浜でゆっくりお昼寝したり、ファイアーワークを見に行ったり、カヤックを漕いだりしました。ぜひ。

住居

- 大学には2種類の寮があります。KK と International House です。前者はローカルの人も多く住む、伝統的な寮です。後者は留学生も多く住んでいます。
- 日本とは違って、寮は2人で1つの部屋を使うのが基本です。プライベートを重要視する人には、お勧めできません。
- 特にKKの場合は、住みにくいという話をよく聞きました。猿がキッチンからご飯を盗んだり、水道が止まったりなど。
- 僕の場合は、そういう事情を全く知らずにマレーシアに到着しました。寮は全て denied されたからです。
- 僕の場合は、現地に知り合いがいて、一緒に部屋を探すのを手伝ってくれました。しかし、一般的に知り合いはいないはずですよ。
- 大学が薦める不動産があります。Wonderlust global という名前のはずです。どうぞ whatsapp で連絡して、キャンパス外で住むことをお勧めします。
- 安く済ませるならルームメイトを留学生全体の Whatsapp グループで募集するのはあります。交換留学生は前期だけで500人いました。
- ホテル暮らしの人は一応いきましたがお金はバカにならないはずですよ。ホテルに住むならルームメイトを見つけることをお勧めします。

大学での学び

- 僕は専攻と同じ、コンピュータサイエンスの授業をたくさん聞きました。
- 履修登録時に、大学のサーバがクラッシュして、受けたい授業が全て受けられませんでした。これはマラヤ大学にはよくあることのように思います。事前にプラン B プラン C を考えていく必要があるでしょう。
- Programming for the Science, Internet Technology, Proficiency English 3 を取りました。
- いずれの授業も全て英語です。
- Programming for the Science は初歩的な Python というプログラミング言語の授業でした。Internet Technology は5Gの成り立ちとその仕組みなどを勉強しました。Proficiency English は、公立大学の University English の A と B を混ぜたような授業です。エッセイも書いたりしました。
- ぜひ授業内でローカルの友達を作ってください。僕は、プログラミングの授業で幸運にも友達をたくさん作ることができました。一緒に授業後にカフェテリアに行ったり、テスト終わりの記念にマンゴーピンスを食べに行ったり。一生物の友人になりました。

留学に行く意味

- 留学ってなんで行くんでしょうか。みんなそれぞれいろんな理由があると思います。
- 僕が1番学びが大きいと感じたのは、多様性って何か、考える機会を得たことだと思います。
- 僕はマレーシアで、ほんの少し多様性の意味がわかった気がしました。マレーシアは、中国系、マレー系、インド系などなど、多様なバックグラウンドの人がいますし、国内でも複数の民族が共存しています。その中では、いろんな違いがあって、時に衝突したり、センシティブなトピックもたくさんあるようでした。しかし、それでも、みんな1つでマレーシア人だと知りました。美味しいご飯を食べて、同じマレーシア代表選手(バドミントン、行ったらわかるはず)を応援する。
- 多様性は、相手の違いを受け入れ、尊重し、作り上げていくものだと知りました。

マレーシアに行こう

- マレーシアは必ずあなたの想像を超える国だと思います。同じアジアでもここまで違うのかと衝撃を受けることでしょう。
- その刺激こそが留学の醍醐味だと思います。
- ぜひマレーシアに行って、刺激を喜んで受け入れましょう！